

独自の「プラスワンアイデア」で顧客への提案を続ける

エーシック株式会社 京都府宇治市

LED（発光ダイオード、Light Emitting Diode）は次世代の明かりといわれ、最近では信号機や電光掲示板、携帯電話のバックライトなどさまざまな用途で使われている。

京都府宇治市に本社を置くエーシック株式会社は、屋外の看板やイルミネーションなどに応用したLED製品をはじめLEDに関連した製品を多数開発・製造している。同社は創業からわずか10数年で、年商約50億円をあげる新進気鋭の企業であり、多種多様な分野において、独自の考え方「プラスワンアイデア」を顧客へ提案している。

会社概要



会社名：エーシック株式会社
所在地：京都府宇治市広野町
西裏 37-1
電話：0774-44-6544
FAX：0774-44-6575
設立：1992年
代表者：代表取締役 神野 勝
資本金：1,500万円
従業員：40名
事業：電子機器用部品の製造、
販売
URL：<http://www.asyck.co.jp/>



本本社屋

創業から十数年で大きく成長

エーシック株式会社の創業は1992年3月。社長の神野勝氏が50歳の時だった。大手電子部品

メーカーであるロームに長年勤め、これからは悠々自適の生活を送るべく退職したばかりだった。その神野社長が会社を起すことになるきっかけは1本の電話だった。退職した後のある時、大手の商社から「こんなLEDがつかれないだろうか？」という相談を持ちかけられた。社長にとってさほど難しい内容でもなかったから、これならすぐにできますよと返事し、早速図面を引いた。すると先方からどうしても作って欲しいとの強い要望があり、数か月後にエーシック株式会社を設立することになった。

現在、同社の業績はすこぶる順調であるが、創業当初は決して順風満帆ではなかった。「創業から3年間は無給でした。もう辞めようかと考えたこともありましたが」と社長は当時を振り返る。自宅の4畳半一室を使って始めた事業は、しかしながら、その後10年で5回も会社を増築移転させるほどの急成長を遂げた。

同社の業績拡大には「人」の存在が欠かせないと社長は言う。「社員の育成が会社を育てる」のだという理念をもっている。したがって、社員全員に経営や営業の意識をもって仕事をしてもらいたい、そして自由に発想してもらいたいと考えている。また、「気持ちよく働く」ことがよい人間関係を構築するのだともいう。

一方で、「自由の根底には必ず規律が存在する。規律を守らないような自由は、私が求めている自由ではない」としつけ面には大変厳しい。

プラスワンの考え方

社名のエーシック（A'SYCK）はIT用語である「ASIC（特定用途向け集積回路）」を元にしていう。すなわち、「ある特定の用途（＝顧客）のために設計、製造される集積回路（＝製品）を作る企業」をイメージしている。さらに、顧客の要望に、独自にプラスワンのアイデアを付け加え、より優れた商品を提案・開発していくことがエーシック株式会社の基本方針である。

98年にはフルカラーのLEDをいち早く開発・

製造。加えてフルカラーLEDを応用した「表示装置」などの商品化にも成功。どのような色でも表現できる技術を最大限にいかし、フルカラーLEDの開発後、売上がさらに増加した。



同社の基本方針「プラスワンアイデア」

核となる「屋外看板」

数ある同社製品群の中で核となっているのがLEDを使った屋外や店舗向けの電飾看板である。今まではネオンが主流だったが、電飾看板を同社のLEDに変えることで大きなコストダウンが可能となる。

これまでLEDが使われなかったのは多くの素子が必要だったから。仮に、20cm四方の文字を発光させるためには約100個の素子が必要であった。これではコストダウンにほど遠い。しかし、同社で独自に開発した方法では、これをわずか12個の素子で実現できる。

したがって、同社のLEDを使うとネオンと変わらない高輝度でありながら、消費電力が20分の1ですむ。しかもLEDは長寿命でメンテナンスも不要であり、さらに有害な物質が含まれていないため環境にも優しい。



開発当時のフルカラーLED電飾看板

また、同社は電飾看板などのカスタム製品に加え、汎用品の開発・製造にも着手し、数々の製品を開発・製造している。例えば、2006年4月に発売した新製品のエーシックライト（ASYCK

LITE）は、デザイン性の高いLED型照明ユニットである。厚さはわずか10mmという超薄型でありながら光源に高出力のLEDを搭載しており、照明として必要な明るさを確保している。しかも薄いという特徴から、他の光源では実現が難しかった狭い場所の照明としても利用することができる。



新製品のエーシックライト

今後の展望

フルカラーLEDは、半導体・電子部品分野はもとより電飾看板、医療機器、道路・公共施設など用途は幅広い。さらに同社では独自の発想やものの見方、展開などにより、新しい分野を開拓している。特に大企業では思いつかないような分野にこだわっているのだという。

今考えているのは、「教育に関するもの」や「農作物被害対策」だ。具体的にはLEDを学習機の照明に利用し、目や脳に良い波長の色を提供することで学習効果を高めたりする取り組みを検討している。また、動物による農作物被害への対策として、大学や京都府の農芸高校と連携して動物が嫌う色の研究も行っている。

2004年には京都市ベンチャー企業目利き委員会よりAランクの認定、2005年には京都府中小企業モデル優良企業の認定を受けたエーシック株式会社は、今後も同社LEDの特性である長寿命や省電力によって、地球環境を考えた「新しい光源を提供する企業」として大いに期待されている。

(丸尾、山城)